



平成 26 年度

小平市民活動支援センターあすぴあ

管理運営事業報告



平成 27 年 5 月

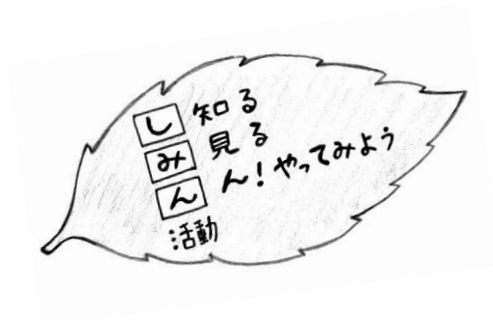
小平市民活動支援センターあすぴあ指定管理者

特定非営利活動法人 小平市民活動ネットワーク





NRONRONRONRONRONRONRONRONRONRONRO
しる みる ん! やってみようしみるんかっどう
NRONRONRONRONRONRONRONRONRONRONRO



平成26年度 小平市民活動支援センターあすぴあ 事業報告



■平成 26 年度事業全体報告

平成 26 年度は、NPO 法人小平市民活動ネットワークがあすぴあの指定管理者となって 5 年目の年でした。登録団体数は、97 団体から 115 団体となり、利用者数も順調な伸びとなりました。また、電話や窓口での相談件数が増えたように感じました。あすぴあ最大のイベント、NPO フェスタの実行委員へ応募する人が増えたり、積極的に参加する団体が増えました。

主な助成金情報をホームページに掲載していますが、あすぴあ宛てに届く助成金団体からの手紙やチラシも増えてきたように思われます。あすぴあ登録団体を中心に助成金情報を送るようになっています。

新しい試みとして、9 月のホームページリニューアルを機にメールマガジンを配信することになりました。

あすぴあ 利用状況 報告

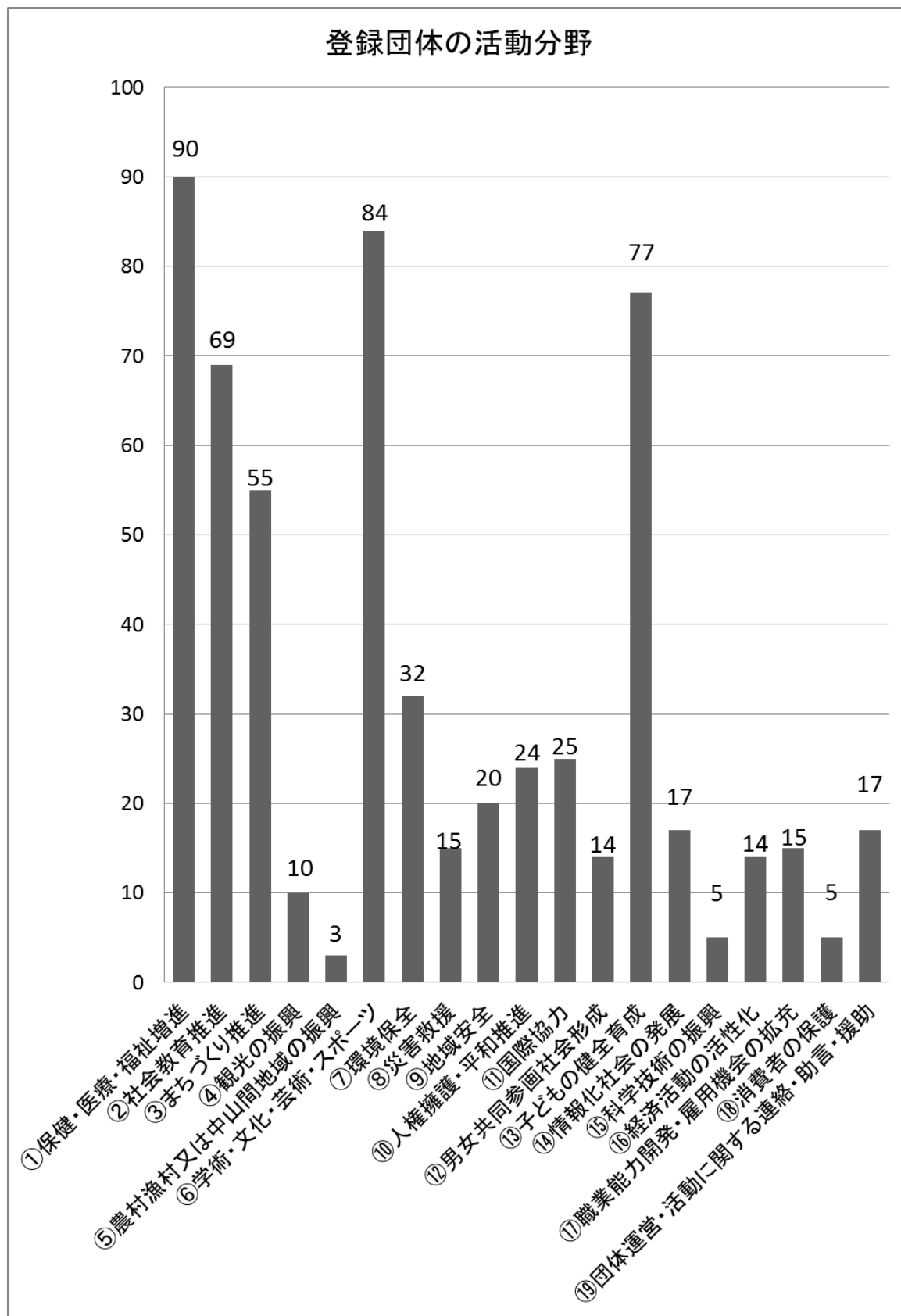


あすぴあ登録団体一覧表			
登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
1	H22		視覚障害者パソコン教室
3	H22		小平市けやきの会
4	H22		パソコン徒然草の会
5	H22	特定非営利活動法人	小平シニアネットクラブ
7	H22		はじめてのパソコンサークル
11	H22		小平図書館友の会
12	H22	特定非営利活動法人	小平ハートピア
13	H22		地域生活支援センターあさやけ
14	H22		こだいら参画の会
15	H22		KASA(小平自閉症を考える会)
18	H22		小平こども劇場
19	H22		こだいら市民提言の会

登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
21	H22	特定非営利活動法人	匠リニューアル技術支援協会
22	H22	特定非営利活動法人	PIANT A TREE PLANT LOVE
23	H22		政治・知りたい、確かめ隊
26	H22		右脳いきいきクラブ
27	H22	特定非営利活動法人	ふれあいアカデミー
29	H22		インドな人口問題を考える会
31	H22		小平ターゲット・バードゴルフ協会
32	H22		うたごえin元気村
33	H22		ボーイスカウト小平第2団
34	H22		小平市女性のつどい
35	H22		たまの音楽家
36	H22		いきいき93
37	H22		精神保健福祉ボランティアの会「ひだまり」
38	H22		少年少女キャンプ村 小平・西東京
39	H22		こだいらDV防止ネットワーク
40	H22		萩山・小川団地九条の会
42	H22	特定非営利活動法人	移動サービス・バイユアセルフ
43	H22		地球クラブ
44	H22	特定非営利活動法人	ACTたすけあいワーカーズ小平らいふえいど
45	H22		小平IT推進市民グループ
46	H22	特定非営利活動法人	アトリエ・パンセ
47	H22		ボーイスカウト小平第1団
48	H22		ガールスカウト東京都第176団
50	H22		小平少年少女青空学校
51	H22		小平小川西パソコンサークル
52	H22		小平市障害者団体連絡会
53	H22	社会福祉法人／つむぎ	社会福祉法人つむぎ おだまき
54	H22		合唱団「みらい」
55	H22		小平市自治基本条例市民の集い
56	H23		パソコン復習塾
57	H23		自転車スイスイ
60	H23		K. K. メンネルコール
61	H23		上鈴木西地区3・3・8道路を考える会
62	H23	特定非営利活動法人	こども未来研究所
63	H23		小平市グラウンドゴルフ協会
65	H23		ダンスパフォーマンス集団 迫-HAKU-
66	H23		小平おもちゃ病院
70	H23	公益社団法人	小平市シルバー人材センター
72	H23	特定非営利活動法人	こだいら自由遊びの会
73	H23		むさしの会
74	H23	特定非営利活動法人	ラスキア
75	H23		市民プラザこだいら
77	H23	特定非営利活動法人	ぶるーべリー愛犬ふぁみりー協会
80	H23		朗読小平教室(ひびき)
81	H24	特定非営利活動法人	My Style@こだいら
82	H24	特定非営利活動法人	だれもがともに小平ネットワーク
84	H24		きらめきナイト
85	H24		楽遊会
86	H24		たまり場フォーティワン

登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
87	H24	特定非営利活動法人	小平市民活動ネットワーク
88	H24		子ども∞幸せ円卓会議inこだいら
89	H24		小平ユネスコ協会
90	H24		小平断酒会
91	H24		熟年いきいき会
92	H24		音の会
93	H24		こだいら平和コンサート・合唱団どれみ
94	H24		グリーン研究会
95	H24		小平要約筆記サークル「ほおずき」
96	H24	特定非営利活動法人	障がい者職業支援 飛行機雲
97	H24		poco-A-poco
98	H24		原発にさよならを／小平の会
99	H24	特定非営利活動法人	こだいらソーラー
101	H24		小平都市計画道路に住民の意志を反映させる会
102	H24		こだいら菜の花プロジェクト
103	H25		ママさんバンドサウダージ
104	H25		こだいら市民活動まちづくりネットワーク2012
106	H25		小平Nゲージレイアウトサークル
107	H25		アロマサロン
108	H25		平和のための戦争展・小平
109	H25	特定非営利活動法人	子育てサポートきらら
110	H25		学び舎江戸東京ユネスコクラブ
111	H25		やすらぎコンサート Sana(さ～な)
112	H25		安心安全ウォークネット罌
113	H25		障害者パソコン自主勉強会 飛躍
114	H25		親子でグッドコミュニケーション ラ:ピース
115	H25		プアナ・ティアレ
116	H25		終活を考える会 小平
117	H25		点字の会「てんとう虫」
118	H26		小平市子ども文庫連絡協議会
119	H26		LPG
120	H26		日本太極柔力球小平支部
121	H26		さよなら原発 萩山・小川の会
122	H26	特定非営利活動法人	こども未来ラボ
123	H26		小平市身体障害者協会
124	H26		きらきらカフェ
125	H26		ブルーベリーパラダイス
126	H26		みんながみちるプロジェクト
127	H26		小平はぐくみプロジェクト
128	H26		こだいらWEB広報セミナー
129	H26		小平市脳卒中患者友の会
130	H26		にこにこ会
131	H26	特定非営利活動法人	ライフデザインむすび
132	H26		災害ボランティア未来
133	H26		苔玉会
134	H26		親子リトミックサークルピッコロ
135	H26		こだいら国際協力プロジェクトSeed
136	H26		3.11に学ぶ小平の減災を考える会
137	H26		小平井戸の会
138	H26		小平 市民後見を考える会
139	H26		玉川上水ストーリーテラズ
140	H26		すまいるサロン
平成26年度末 あすぴあ登録団体数 115			

あすぴあ登録時には、団体の活動分野に関する書類の提出を求めています。ひとつの団体で複数の活動をする場合は、複数の分野にしるしをつけます。グラフを見ると、どの分野にも表示があって市民活動の多様性がわかり、興味深いものがあります。



年月	開館日数	会議室								交流スペース			合計
		午前		午後		夜間		合計		昼間	夜間	合計	
		人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	人数	人数	人数
2014/04	25	132	15	205	15	41	8	378	38	270	42	312	690
2014/05	23	132	13	179	14	22	4	333	31	294	37	331	664
2014/06	25	117	13	266	18	47	6	430	37	321	38	359	789
2014/07	26	175	16	247	18	65	7	487	41	368	37	405	892
2014/08	27	117	14	168	12	54	6	339	32	314	43	357	696
2014/09	23	179	16	201	17	29	5	409	38	345	56	401	810
2014/10	27	405	18	441	18	46	8	892	44	519	65	584	1,476
2014/11	24	169	16	269	17	59	8	497	41	324	26	350	847
2014/12	23	106	13	175	11	31	5	312	29	264	42	306	618
2015/01	23	155	15	125	9	33	6	313	30	325	55	380	693
2015/02	23	145	16	194	15	44	7	383	38	336	40	376	759
2015/03	24	147	16	246	17	67	7	460	40	410	52	462	922
合計	293	1,979	181	2,716	181	538	77	5,233	439	4,090	533	4,623	9,856

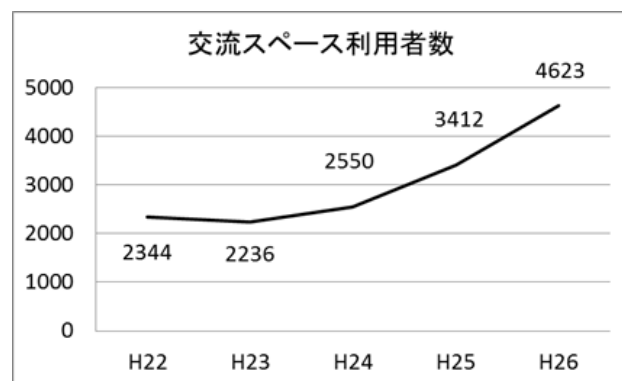


昼間	男性			女性		
	60以上	60未満	未成年	60以上	60未満	未成年
4月	84	31	8	83	57	7
5月	75	40	8	68	93	10
6月	72	35	14	67	128	5
7月	92	39	22	79	122	14
8月	103	38	11	69	79	14
9月	82	35	20	81	109	18
10月	122	75	37	98	149	38
11月	97	27	20	86	87	7
12月	84	26	11	56	80	7
1月	81	47	10	92	83	12
2月	76	49	6	94	103	8
3月	111	59	22	106	96	16
計	1079	501	189	979	1186	156



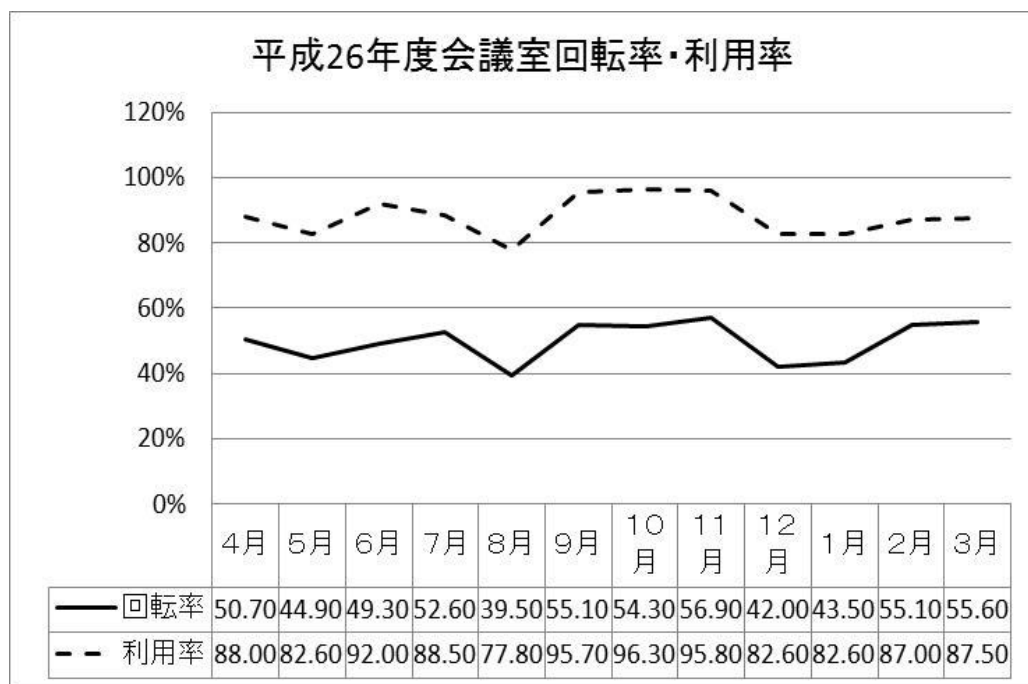
夜間	男性			女性		
	60以上	60未満	未成年	60以上	60未満	未成年
4月	14	6	1	7	13	1
5月	4	11	8	7	6	1
6月	2	5	0	13	18	0
7月	8	9	0	14	6	0
8月	11	7	0	12	11	2
9月	8	8	4	19	14	3
10月	12	19	0	16	16	2
11月	3	11	0	4	8	0
12月	4	12	0	7	17	2
1月	11	7	0	17	20	0
2月	7	5	0	9	18	1
3月	13	3	8	8	15	5
計	97	103	21	133	162	17

平成 26 年度 3 月までの総利用者数は 9,856 人。そのうち交流スペース利用者数は 4,623 人。小平元気村おがわ東の複数の施設へ来た人たちが、あすびあにまで足を延ばして休んでいく姿がよく見られました。例えば、同じ階にある子ども家庭支援センターに来た親子が何組も来てお昼を食べて帰る、ファミリーサポートセンターの登録に来た人がコーヒーを飲んで帰る、元気村で働く人たちがお弁当を食べに来る、1 階にある福祉施設に来た人がお茶を飲みに来る、多目的ホールで体を動かした人たちがひと休みしてから帰る、打ち合わせをする、等々気軽に利用できる「お休み処」のような役目を果たしてきました。利用する人たちは、休みながらチラシを見たり、団体紹介展示を見たり、本や新聞を見たりします。元気村の屋外広場、萩山グラウンドを利用する団体も活動後、打ち合わせや休憩に使ったりしました。

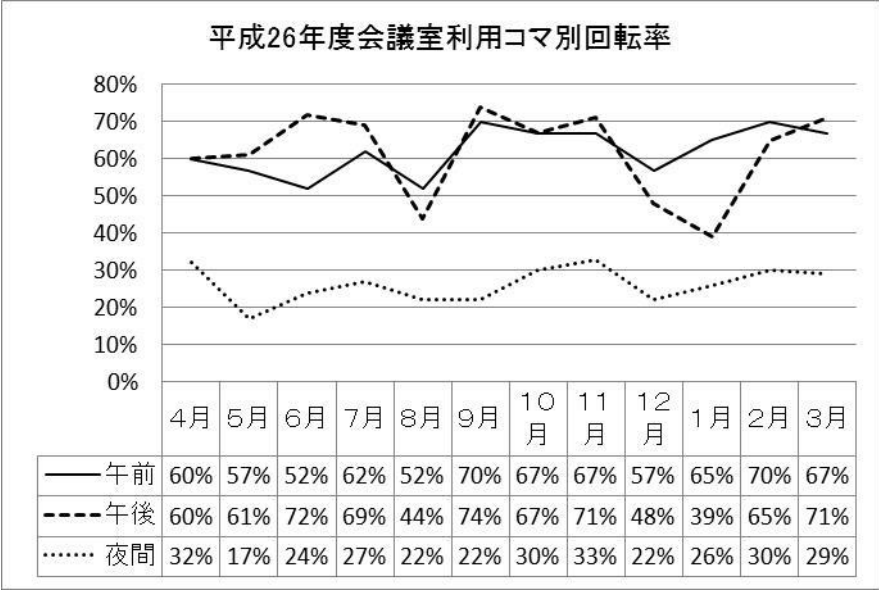


会議室は、午前、午後、夜間と分けて利用申込みを受け付け、それぞれ1コマと呼ばれます。つまり、1日に3コマあることになります。

年月	会議室利用率・回転率					
	利用 日数	開館 日数	利用率	利用 コマ	開館 コマ数	回転率
2014/04	22	25	88.0%	38	75	50.7%
2014/05	19	23	82.6%	31	69	44.9%
2014/06	23	25	92.0%	37	75	49.3%
2014/07	23	26	88.5%	41	78	52.6%
2014/08	21	27	77.8%	32	81	39.5%
2014/09	22	23	95.7%	38	69	55.1%
2014/10	26	27	96.3%	44	81	54.3%
2014/11	23	24	95.8%	41	72	56.9%
2014/12	19	23	82.6%	29	69	42.0%
2015/01	19	23	82.6%	30	69	43.5%
2015/02	20	23	87.0%	38	69	55.1%
2015/03	21	24	87.5%	40	72	55.6%
合計	258	293	88.1%	439	879	49.9%



上図のとおり回転率・利用率は、例年そうですが、8月・12月に低くなり、気候のよい春や秋に高くなります。ところが、一年で一番寒い2月は、回転率・利用率が低くなりません。2月は、他の公共施設を利用して行われる市民活動のイベントも比較的多い月です。

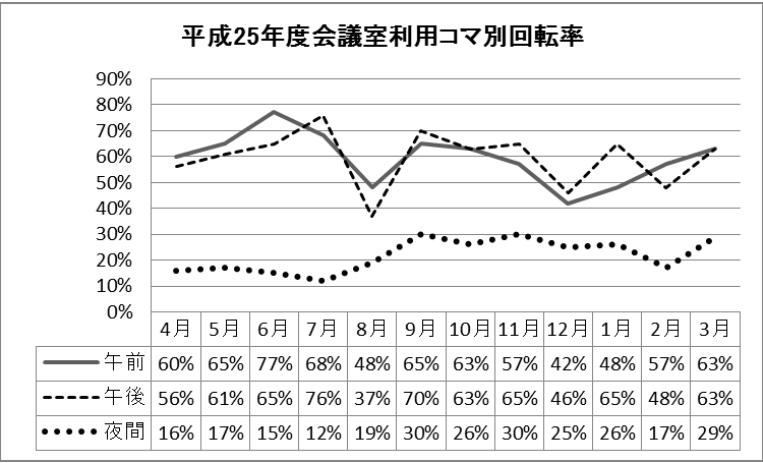


左のグラフは、午前、午後、夜間別の回転率を表しています。

回転率とは、利用コマ数を利用できる全コマ数で割ったものです。例えば、4月の午前は15コマの利用があり、午前の全コマ数は25。15÷25=0.6 となるので、回転率は60%となります。

平成25年度の会議室利用コマ別回転率のグラフ（右）と平成26年度のグラフ（上）を比べると、午前・午後・夜間のどの数値も26年度の方が高くなっています。

夜間の回転率は、平成25年度には10%代が6か月分ありましたが、平成26年度には1か月分になり、微増傾向にあると言えます。



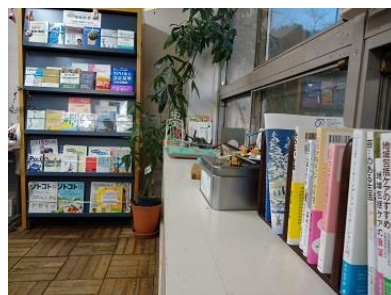
登録団体は印刷機の利用ができます。印刷機は、2色印刷ができる簡易印刷機です。プリンターのような精度の印刷はできませんが、デザインやインクの色の手順次第で様々な印刷物ができます。黒・赤・青・緑の4色。黒と赤、黒と青、黒と緑の2色印刷の他に、単色印刷もできます。紙は、団体が持ち込みで用意します。版下1枚50円。印刷は、100枚まで20円です。

ラミネータの貸出しもしています。シート込みの値段は、A4 15円、A3 30円。機械が過熱するので、長時間の使用はできません。

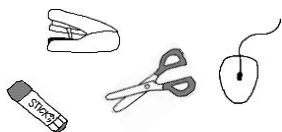
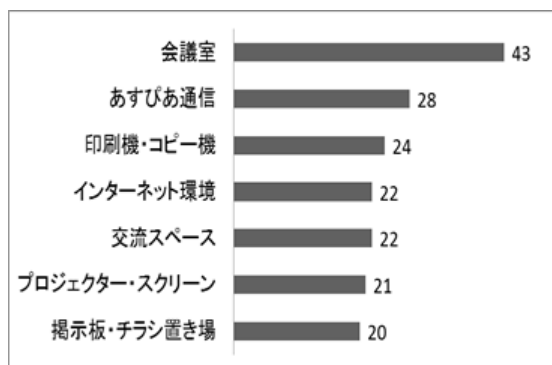


あすぴあの図書は、市民活動関連の書籍を中心に集めています。新着図書は表紙が見えるように配置しました。交流スペースに置いた箱に希望図書を記入した紙を入れてもらったり、あすぴあに来た人たちからも希望図書を聞いたりしました。そうして集めた希望の本を3か月毎に運営会議にかけて、購入図書を決めてきました。市内のどの図書館よりも市民活動関連の本がそろってきたと自負しています。

廊下の掲示板も2か所増やしました。ひとつは「みんなのけいじばん」と名付けて、市民活動団体のみなさん自身がチラシを貼り出す場所を提供しました。もうひとつは、助成金情報や公的なものを貼る場所にしました。



利用者アンケートの中に「あすぴあ利用時に役に立ったものは何か」という質問があります。その中からベスト7を選んで作成した表が右の図です。あすぴあ通信（年5回発行）が予想外に上位の位置になりました。

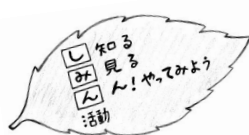


文房具の貸し出しもしています。

交流スペースには、登録団体の中から希望する団体の展示物を掲示して、活動内容のPRに使う団体紹介展示のコーナーがあります。期間は約1か月。あすぴあに来た人たちが読んでいきます。おひなさまや5月人形も飾ります。一年間の展示の様子をあすぴあ通信41号で特集しました。



キャッチコピー



市民活動 パワーアップ 講座



① 広報連続講座 伝えるコツを学ぶ 連続4回講座

開催日時：6月6日（土）、7日、14日、21日

開催場所：小平元気村おがわ東第一会議室、第二
会議室

参加人数：22人、21人、21人、15人

講師：鶴保正明さん（日本NPOセンターからの
紹介）

- ① 伝えるコツ 基礎編
- ② 伝えるコツ 基礎編
- ③ やってみよう チラシ編
- ④ やってよう プレゼン編

「伝えるコツ」ということが重要な講座でした。そして、コツを学んで公募事業などのプレゼンテーションにも生かすということがねらいでした。

講師は電通に勤めていた鶴保正明さん。参加者は、テキストを500円で購入し（コピーして何度でも使える）、講師の説明を聞きながらグループ毎に熱心に学びました。講師が持参したたくさんのチラシを見た後、基礎編で学んだことを基にチラシをつくりました。参加者同士で票を入れるチラシの人気投票もしました。後半は2日かけて、小平市市民活動支援公募事業に応募すると仮定して、2人組でプレゼンの練習を行ないました。



② 市民活動資金の作り方と活かし方

開催日時：7月9日（水）、17日（木）
 開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室
 参加人数：18人、20人
 講師：熊谷紀良さん、八木亜紀子さん
 （東京ボランティア・市民活動センター）

市民活動にとって資金の作り方と活かし方は重要な問題です。どの調査・研究を見ても資金に困る団体が多いことがわかります。

東京ボランティア・市民活動センターでいくつかの相談に応じている、熊谷紀良さんと八木亜紀子さんから話を伺いました。その中で資金の作り方のひとつの手段として、寄付のお話もあり、「すぐにでも始めることを考えたい」という会場からの感想も聞こえました。



③ 子育て世代の フリマで 仲間づくり

開催日時：9月4日、18日、10月2日、
 16日、26日、30日
 開催場所：あすびあ会議室ほか
 参加人数：のべ70人 保育：7人
 講師：NPO法人 tadaima! 代表 三木智有さん
 コーディネーター：遠藤真弓さん、奥野宏子さん

フリマの体験を通じて仲間づくりをする講座を連続6回で行ないました。そのうちの9月18日には、NPO法人 tadaima!の代表であり、家事シェアコンサルタントの三木智有さんに講師をお願いして、家の中の片付けについての講座を開きました。この回だけは、一般の参加者も加わって片付けの大切さを学びました。家の中を片付けて、フリーマーケットに出品するものを見つけることを目的にしました。

10月26日は、3つのグループに分かれて、NPOフェスタで実際にフリーマーケットを開店しました。それぞれ工夫を凝らしたお店ができて、最後までお客さんが来ていました。



講座の最終日には、ささやかなお茶の会を開いて、講座の振り返りをしました。コーディネーターからは「大成功でした」、参加者からは「またフリマをやりたい」「こんなお茶の会になるとは思わなかった」という感想があり、保育つきなので女子会風に話が弾みました。



④ 防災 市民活動の視点から考える

開催日時：平成27年1月31日（土）
 開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室
 参加人数：16人
 講師：高橋 静さん（防災士）
 こだいらボランティアセンター
 小平市防災安全課

防災というテーマは、市民のみなさんにとって非常に関心の高いものなので、防災を扱った講座は様々なところで年間を通じて行なわれています。しかし、これまで市民活動の視点から考えるものがなかったので、当センターで企画をしました。

防災安全課は主に「公助」の部分について、こだいらボランティアセンターは、大災害時に立ち上げる災害ボランティアセンターと「共助」の部分について話をしました。防災士の高橋静さんは、市民活動の視点から災害時に市民はどのように動くことができるのかを考えるために、独自に作成した被害状況想定マップなどを基に説明をしました。



あすぴあ 市民活動 交流サロン



① 障がい児の居場所づくり

開催日時：4月22日（火）

開催場所：小平市福祉会館

参加人数：13人

ゲスト：タヤけこどもクラブ、小平おもちゃ図書館こっぺの会、ポップコーン

昨年度から続けてみなさんの関心が高い「居場所づくり」のサロンで、障がい児対象の居場所を運営している団体の話を聞く会を設けました。会場は、いつもと違って福祉会館にしました。市の職員の参加もありました。



② シニア世代の趣味をいかした仲間づくり

開催日時：12月3日

開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室

参加人数：9人

ゲスト：右脳いきいきクラブ、熟年いきいき会
NPO法人小平シニアネットクラブ

趣味は楽しいものです。趣味をいかして社会と関わりを持つと、毎日の生活がより充実したものになりそうです。それを実践している団体のお話を聞いて、シニア世代の仲間づくりや生き方について考える交流サロンを開きました。

ゲストの団体の話を聞いた後、参加者の団体の話を聞きました。和風の会の人たちは、いつも小金井公園で揚げている凾を見せながら説明をしました。

このサロンがきっかけになり、隣の町、西東京市まで活動が広がった団体もありました。



身振り手振りで凾の操り方を説明する和風の会



③ 学校で活動する市民活動団体・ボランティアの交流会

開催日時：平成27年2月14日（土）

開催場所：あすびあ会議室

参加人数：19人

ゲスト：小平IT推進市民グループ

手話グループ トライ

学校で活動する市民活動団体やボランティアは、図書館ボランティアをはじめ、増えています。小学校で子どもたちにパソコンを教える団体、手話を教える団体、学校でボランティア活動をする人、学校ボランティアと学校を結びつける役割の学校コーディネーターの人たちなどが集まりました。

小平IT推進市民グループは、プロジェクターを使って活動を伝えました。

手話のグループは、発表者が手話を使って話し、グループの一人がすぐに音に訳しました。



④ NPO法人交流サロン 安藤雄太さんに聞くNPOの制度改正

開催日時：3月5日（木）

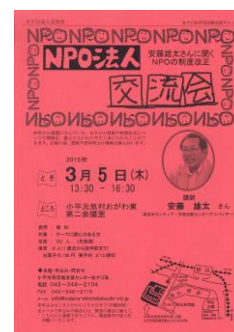
開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室

参加人数：16人

講師：安藤雄太さん

（東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー）

NPOとは何か、という基本的なことから始まり、これからの時代にNPOは何をするべきかを考えさせるようなお話まで、興味がつきない時間でした。参加者は、市内のNPO法人と法人格をとろうと思っている団体が多く、交流会でも様々な話題が出ました。例えば、認定NPO法人になって活動をしているが、わからないことが多い。これからNPO法人になる準備をしている。NPO法人ではなく、一般社団法人や株式会社という形態でも活動ができることがわかってよかった、等々。最初、会場に入った時には表情の硬かった人たちも、終了時には柔らかい表情に変わっていました。



NPOフェスタ in元気村2014

開催日時：10月26日

開催場所：小平元気村おがわ東

参加団体数：60団体

来場者数：970人

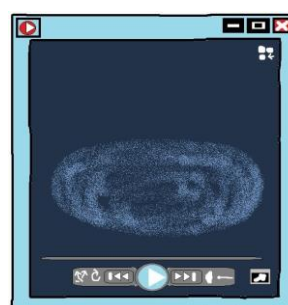
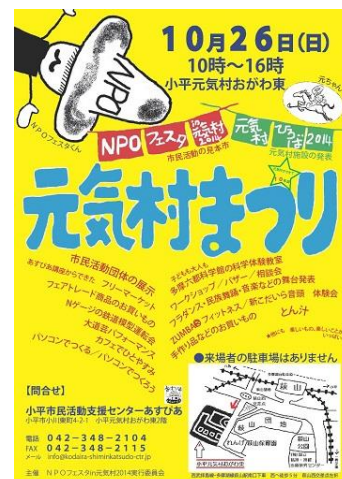
あすぴあの一年のうちで一番来場者数が多いイベントが、NPOフェスタです。あすぴあがオープンして以来、毎年来場者数が増えています。中でも、お子さん連れの人たちが多く来るようになりました。

飾り付けも工夫をこらして、きれいにできるようになりました。多摩六都科学館の科学体験教室、鉄道模型運転会など、子どもたちが喜ぶ企画の他に、舞台では新しいダンスを取り入れたフィットネス体験や珍しい太極柔力球の実演、フラダンスの公演などがありました。災害時に利用する発電機を電気ポットやホットプレートにつないで使ってみたので、普段は倉庫にしまっている発電機が有効であることがわかりました。

お天気がよかったので、初めての試みでしたが、外でフィナーレを行い、大変好評でした。



萩山西交差点の角に掲げるフェスタの看板を職員がつけました。画材屋さんの一言がやる気にさせてくれました。「自分でやってみるのが一番。できますよ。」



今年も動画をつくり、ホームページに載せました。フェスタ会場の小平元気村おがわ東にぴったりの音楽もつけて上映時間は約1分間です。

あすぴあ通信 と 市民活動団体データ集 『むすぶ』

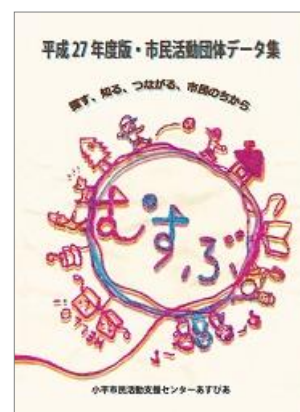
あすぴあ通信は年5回発行しています。市内の公共施設のほか、7つの西武線の駅の市報ボックスにも置いています。バックナンバーをご希望の方にはお送りしています。

広報部会が、主にあすぴあ登録団体取材して活動内容がわかるように記事を書いて、載せています。



市民活動団体データ集『むすぶ』は、窓口でも公共施設でも持ち帰る人が増えています。新しい掲載団体は12団体になりました。継続して作成してきたことが、市民活動データ集と市民活動支援センターの存在を市民のみなさんに知ってもらうことになり、ひいては市民活動の活性化につながるることになるとあすぴあでは結論づけました。

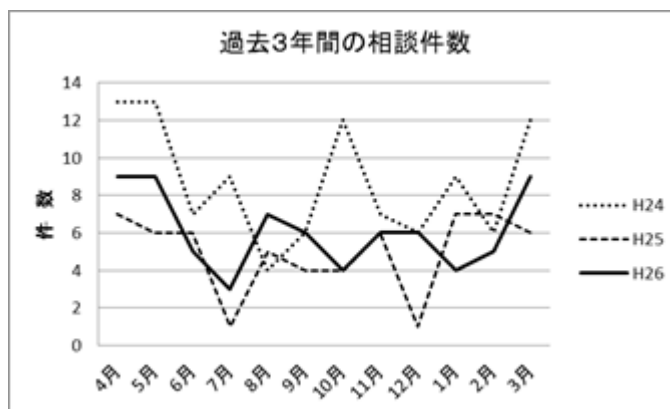
毎年、市報こだいら11月5日号で掲載団体を募集しています。



なんでも 相談室

市民活動
なんでも相談

市民活動相談は、電話、窓口での相談から相談日を予約をする「なんでも相談室」まで様々な形があります。相談の内容は例えば、NPO法人格をとりたい、団体を立ち上げたばかりで相談したいことがある、活動をひろげたい、というような内容でした。市の各担当課からの問合せや他市からの市民活動に関する問合せも多くなった年でした。



利用者 懇談会



開催日時：2月19日

開催場所：あすびあ会議室

参加人数：8人

- ・あすびあ見学
交流スペース—掲示板—印刷室
- ・市民協働から
仕事内容、市民活動支援公募事業といきいき協働事業の説明
- ・利用者アンケートと「5年間の数字でみるあすびあ」の報告
- ・団体の活動紹介、質問、懇談

年に1回、登録団体だけではなく、あすびあを利用したことのある団体・個人が集まって懇談する会を開いています。事前に1か月間アンケートを実施して、利用する人たちの声を集めました。

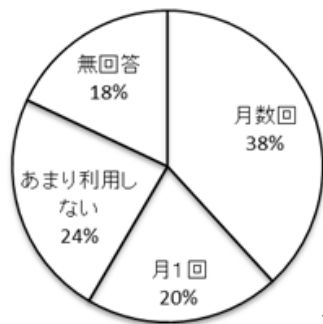
また、今年はNPO法人小平市民活動ネットワークが指定管理者になって5年が経つので、5年間のまとめの数字を集めた「すうじでみる あすびあの5年間」をつくって配布しました。

各団体が活動内容をPRしながら、懇談をしました。今年度末までに始めることになっていたメールマガジンについても意見を尋ねました。

利用者アンケートではあすびあの利用に関する意見も出してもらい、そのいくつかについては出席した団体で話し合いをしました。

会議室を利用したことがありますか

あすぴあで回収

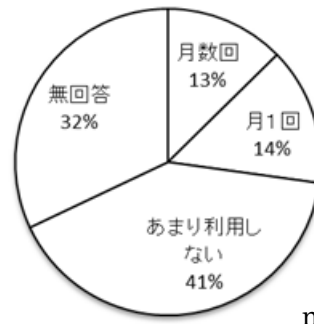


n=89

今年度はあすぴあだけではなく中央公民館でも利用者アンケートを行いました。左があすぴあ、右が公民館での回答です。地理的な事情もありそうですが、広報をより一層したいと思いました。

会議室を利用したことがありますか

中央公民館で回収



n=103

打ち合せなどをするのにとっても助かっている。

いつも快くお借りした会議室で勉強でき、とても満足しています。

アンケートの答えに「時々利用する」という項目が欲しい。

事務室の対応が大変良い。

御幸町で遠いので、必要以外では来訪しません。グループの一員として参加していますので、直接施設の方々との接触は少なく、特に意見はありません。

駐車場の整備をお願いします。

活動拠点になっている場所が取れないときに会議室等を利用させてもらっています。とても助かります。

時々、行事に参加させて頂き、職員の方や市民の方々と交流させて頂き、有難うございます。

英会話講座を開いていただきたい。

希望ですが、助成金情報などをメルマガで流して頂けると嬉しいです。

温かい雰囲気で見学を持ちます。

当事者の会の発展のためにボランティアを探してほしい。

萩山駅から元気村までの誘導ブロックがあったら有難いです。(2名)

私のパソコンではインターネットが使えない。

入室した時、どなたに話しかけてよいのか。お忙しいので迷うことがある。

NPOフェスタで備品を貸してくれて、参加できて有難い。

雰囲気がよい。スタッフにお世話になっている。助成金の講座や市民活動を広げていくためのヴィジョンづくりなど実践的な講座を希望。

まだ施設を利用したことがない。

活動場所の案内、話題の提供、活動の場など、いつも笑顔で対応、指導して下さることに感謝しております。メンバーが少し増えたらと思います。

自由回答はあすぴあ回収分です。回答から交流スペースのみの利用もあることがわかりました。3月からメルマガで助成金情報を流し始めました。利用している印刷所について、利用者懇談会で情報交換をしました。



イベント部会 広報部会 フェスタ部会

市民
参加

あすぴあの事業の大部分は市民参加で行なわれています。年度の途中からでも部会に参加することができます。

■ イベント部会

あすぴあでは市民活動パワーアップ講座と市民活動交流サロンを年に4回ずつ企画・運営しています。毎月、あすぴあ交流スペースで部会を開きました。

■ 広報部会

毎月、交流スペースで部会を開き、あすぴあ通信（年5回発行）の企画・取材・編集をします。また、あすぴあホームページとメールマガジンがよりよいものになるように話し合いをしました。

■ フェスタ部会

毎年10月にあすぴあ最大のイベント、NPOフェスタが開催されます。部会では、ほぼ1年をかけて企画、運営をします。フェスタは実行委員会形式で行なわれますが、フェスタ部会は、フェスタの応援隊です。

運営会議

市民
参加

あすぴあの運営に関して、各部会の部会長と指定管理者の理事たちが話し合う会議を月1回開きました。運営会議で議題となった主なものは下記のとおりです。

- 第1回 4月
あすぴあホームページ改良について
- 第2回 5月
資金調達の講座の講師は東ボラから派遣
- 第3回 6月
あすぴあ図書の選定について
- 第4回 7月
あすぴあ5周年記念行事について
- 第5回 8月
インターンシップの学生受け入れについて
- 第6回 9月
あすぴあ図書決定
- 第7回 10月
あすぴあ勉強会について
- 第8回 11月
部会長欠席時代行出席について
- 第9回 12月
利用者アンケートとメルマガについて
- 第10回 1月
図書の選定とメルマガについて
- 第11回 2月
事業部会設置規程について
- 第12回 3月
事業部会の運営について



運営サポート 会議

公募市民、登録団体、学識経験者などで構成される会議です。オブザーバーで市民協働が出席します。あすぴあは市民活動を支援するところですが、そのあすぴあの動きを支援するのがこの会議です。毎回、忌憚のない意見が出る場です。

平成 26 年度は 7 月、11 月、3 月の 3 回開催されました。



主な議題

7 月：年次報告概要版を配付した

NPO フェスタについて

月曜日開館について

ドリンクコーナーのコミカフェ化について

11 月

NPO フェスタについて（終了した感想など）

3 月

平成 26 年度全般にわたる意見交換

ホームページ について

あすぴあのホームページのリニューアルを 9 月に行いました。あすぴあがオープンしてから 5 年が経過したのを機に、前のページの雰囲気を残しつつ、新しい機能がついたページの作成を業者を交えて考えました。

その結果、ページはできましたが、大変な作業の連続でした。しかし、ホームページについて多少なりとも知識を得たので、決して無駄ではなかったと思っています。また、他市のセンターのホームページ見る目が変わりました。広報部会での話し合いや運営会議での意見を取り入れ、職員間でも話し合っ、より良いホームページにしていきたいと思っています。

ホームページの更新は、職員が毎日行っています。



対外的なこと その他

■東京ボランティア・市民活動センター

年に数回、飯田橋にある東京ボランティア・市民活動センターで開かれる会議に指定管理者の理事長と一緒に出席しました。身近な多摩地域だけではなく 23 区内の職員や指定管理者の人たちと同じテーブルで話し合いました。集まる人たちは主に社会福祉協議会の職員が多く、市民活動団体との違いを感じたり、知らないことを知る場でもありました。

冬には、災害時のホームページでの情報発信についての講座があり、ホームページのリニューアルとそれに伴うメールマガジンの配信、開催地が立川だったこともあって参加しました。各センターのホームページ担当者が集まる講座だったので、若い人たちが圧倒的に多く、毎日更新していると答えると驚かれたりしました。災害時に当センターが直接何かを発信するわけではなく、休館のお知らせを流すくらいではあっても、最近の SNS についての説明や東京以外のボランティアセンターで行われた災害時の実例報告も聞くことができ、有益な時間でした。

■学園西町地区地域連絡会

昨年に引き続き、NPOに関わる施設として上記名称の会議に出席しました。小・中学校の校長、PTA会長、民生・児童委員、商店会、地域包括支援センター、国際交流協会など地域に関わる人たちが一堂に会し、話し合いをしました。

2 年目のまとめのような形でこれまで振り返りを行い、一組織だけでは地域の様々な課題を解決に向けて動かしていくことはできず、何らかの形のつながり（ネットワークともいうべきもの）が必要だということを出席者で認識し、この連絡会

で出会って話し合ったことを大切にしたい、という結論に達しました。

■忘れない 3・11 展

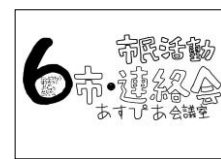
平成 26 年度も中央公民館で行なわれた「忘れない 3・11 展」に展示で参加し、交流会にも出席しました。

あすびあに届いた東日本地域の巨大ポスターや東日本大震災関連の催物のチラシを展示しました。また、ホームページに載せる方が情報を取りやすいのではないかとという観点から、被災地から避難してきた方たち対象のイベント情報を載せました。

■元気村の防災訓練に参加

毎年秋に、小平元気村おがわ東内にある施設が参加する防災訓練に指定管理者の理事と一緒に出ました。非常階段を使ってグラウンドへ避難したり、人員点呼、消火器の火元当て体験、消火栓のホースの使い方を練習したりしました。

■6市・市民活動情報連絡会



八王子市、三鷹市、日野市、西東京市、府中市と小平市の 6 市にある市民活動支援センターが市民活動の情報交換をする会です。年に 4 回、開催地は持ち回りで開いています。

夏には、小平市で連絡会が開かれました。

■他市の市民活動支援センター主催の市民活動のお祭り体験

◇福生市の市民活動センターは福生駅の駅ビルの中にあります。改札口を出てすぐのところに入口があります。チラシ大賞の授賞式では、ゆるキャラの「タッケー」に初めて会いました。あちこちから声がかかるほどの人気者でした。



◇八王子の市民活動支援センターは駅前の繁華街のビルの中にあります。数年前に室内の様様替えをしたり、お祭りでは近隣のカルチャーセンターの団体に出展してもらったりして、雰囲気が変わっていました。



■学生とのつながり

◇上の日野市のお祭りに参加した時に会った大学生が平成26年度の青少年センターの青少年委員に応募しました。そして、あすびあのNPOフェスタの実行委員にも応募しました。白梅学園大学の子育て広場の学生たちと会う機会があり、NPOフェスタの説明をしました。嘉悦大学ローターアクトクラブのメンバーもNPOフェスタで力を発揮しました。

◇夏の期間に、インターンシップの学生2名の受け入れをしました。主に10月に実施するNPOフェスタの準備と各事業部会への出席をしてもらいました。フェスタの準備では、長いことつくりたいと思っていたインタビューボードの作成をお願いしました。人たちに好評でした。また、せっかく小平市の市民活動支援センターで体験をするのですから、他市のセンターの様子も見学しようと、市民協働の職員と共に、西東京市市民活動支援センターと立川市子ども未来センターに行きました。



左：立川子ども未来センターの中にある市民活動の部屋

下：インターンシップの様子とインタビューボード



■あすびあ・公民館・こだいらボラセン・市民協働による地域福祉活動及び市民活動の中間支援に関する情報交換会（略称AKVS）

昨年までは市民協働を除く市民が活動する場として市民に開いている3者が定期的に情報交換をしました。平成26年度から市民協働が加わることで、公的な会議になり、名称を上記のように変更しました。集まりは2、3か月に一度の割合で行なわれました。

今年度は市民が関わる4施設の共通点と差異が一目でわかる一覧表づくりに時間をかけました。これは外部には出しませんが、問合せや引き継ぎ時に活用することになっています。

年度末には来期に向けて、地域で活動している方たちの中で「地域コーディネーター」と言うに相応しい人たちに集まってもらい、座談会を開く計画を立てました。そして、実際に1回目を行い、あとの2回は平成27年度4月に行うこととしました。

■職員研修（夏と冬）

職員からの希望でワードとエクセルの基本的なことを勉強しました。日常業務の中で疑問に思っていたことを集めておいて、質問表をつくり、講師からまとめて答えをもらいました。

年2回、課せられている消防訓練もしました。また、職員が一同に集まる日なので、短い時間でしたが、思っていることを話し合う時間もつくりました。

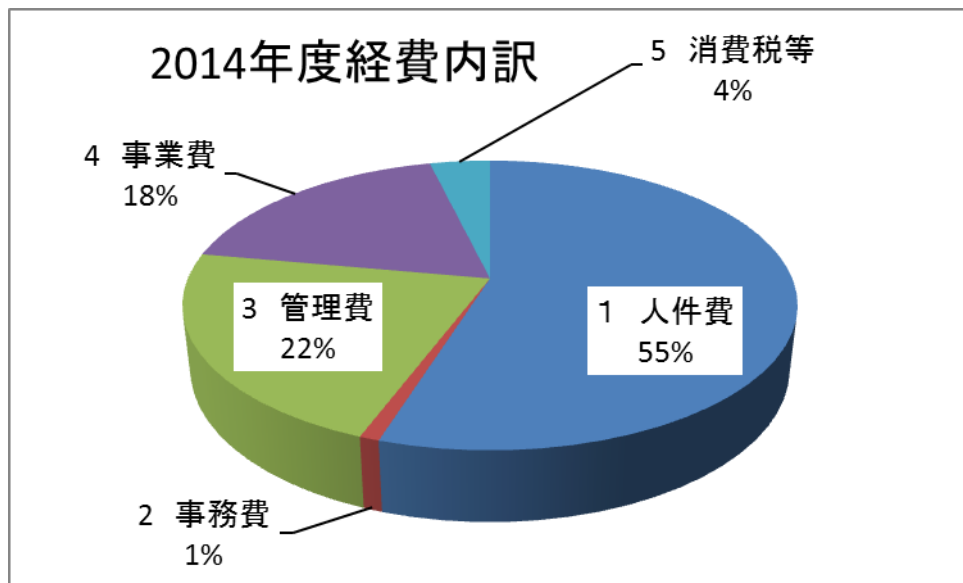
■あすびあ勉強会

職員・指定管理者NPO法人の理事・3部会の部会長・部会員が参加する「あすびあ勉強会」が始まりました。「NPOマネジメント」という雑誌からテーマを決めて取り出し、声に出して読んで意見交換するという勉強会です。

新しくなった紙折り機：あっと言う間にA3の二つ折りができます。初めて使う人は必ず感動します。



2014年度収支計算書		
	2014年度実績	備考
収入合計	13,331,292	
指定管理料	13,100,400	
事業収入	43,065	市民活動交流サロン参加費、フェスタ反省・交流会参加費
雑収入	187,827	印刷機・コピー機・プリンター使用料
経費合計	13,047,115	
1 人件費	7,162,857	常駐スタッフ昼間2名、夜間1名
2 事務費	115,772	メール便、文房具、用紙、カラープリンターインク、帳票類 伝票類、受講料、交通費、印紙税、送金手数料
3 管理費	2,880,205	通信運搬費、消耗品費、消耗什器備品費、交通費、印刷製本費 コピー機・パソコン等貸借料、保険料、修繕費、 支払い手数料、雑費、一般管理費
4 事業費	2,394,981	情報収集・発信事業費、セミナー開催・講師派遣等事業費、 普及啓発事業費、調査研究事業費 《市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロン、 NPOフェスタ、閲覧用図書、あすぴあ通信、むすぶ》
5 消費税等	493,300	



市民 活動	団体	し	る	φ
団体	資料	み	る	φ
し	み	ん	かつ	どう
る	る	かつ	どう	☀
φ	φ	どう	☀	☆